

暑さに負けない熱い演奏 東部方面音楽隊納涼音楽祭で演奏披露



新潟地本（本部長 1陸佐 小見明之）は8月5日（金）弥彦村納涼音楽祭（弥彦村競輪場）において行われた陸上自衛隊東部方面音楽隊（隊長 3陸佐 村田茂）の演奏を支援しました。弥彦村での同音楽隊の演奏は2016年以来となり、「弥彦競輪開設72周年」記念納涼音楽祭に出演しました。東部方面音楽隊は開演前から注目を集め、「東部方面音楽隊の演奏を楽しみにしていました。」といった声も観客から聞こえました。日が沈み始め弥彦村長の挨拶で納涼音楽祭は始まり、観客は気温30度近くの中、県内出身アーティストの歌と演奏を楽しみました。





メインを飾る東部方面音楽隊は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のテーマ曲を始めに、様々な年代が楽しめる全10曲を披露し観客を魅了した。中でも「マツケンサンバⅡ」ではすっかり陽が沈みカクテルライトに照らされる中、仮装した男性隊員の歌声やダンスに女性隊員も加わり花を添えると大きな手拍子が送られ盛り上がりを見せました。演奏終了後には惜しめない拍手が送られ観客から「あっという間の1時間でしたが、素晴らしい演奏で感動しました。」「暑い中、東部方面音楽隊が弥彦村まで来ていただき本当に感謝しています。」といった声も聞こえ演奏を通じて自衛隊への親しみを深めることができました。

新潟地本は今後も演奏会や様々な形で自衛隊の魅力を発信する広報活動を行います。

